



2017年5月8日
2017年度第1号・通算19号

◇◇ 東京あおぞら連絡会事務局 ◇◇

発行責任者: 大島文雄

Tel : 03-6912-1656

Fax : 03-6304-1418



写真右は弁護団報告をおこなう原希世巳弁護士。
国会対策チームによる国会議員要請活動を報告。

画期的な勝利和解から「10年の節目」

☑東京あおぞら連絡会総会開き、新たなスタート☑

■東京あおぞら連絡会は4月18日、東京地評ラパスホールで第10回総会を開き、「国レベルの医療費救済制度」の実現をめざす運動の強化を確認しました。総会小林副理事長が開会を宣言、土田常任理事を議長に選出し、議事を進行しました。開会あいさつで吉川理事長は、「勝利和解から10年の節目の総会」を強調、積極的な討議とあらたな活動をよびかけました。■続いて、東京民医連根本会長代理の鈴木博徳さん、主婦連参与の清水鳩子さんが連帯あいさつ。92歳と高齢ながら凛とした鳩子さんは、「人生の目標をもらった。ぜん息患者さんが泣き寝入りしない社会をつくりたい」と述べ、初代主婦連会長・奥むめをさんの「世の中の矛盾とたたかってください!」という言葉を紹介。■大島事務局長が「正念場の年にあたっての活動方針」を提案。弁護団報告のあと国師さんが討論の口火を切り、「勝利解決10周年のつどいの成功を」とよびかけ、尾崎弁護士、森倉・石川(患者会)西村弁護士、清水・吉野(連絡会)大越(公害対策・まちづくり担当)さんらが次々と発言。「国会対策」「10周年のつどい」「地域の活動」などについての討議をおこない、議案・会計報告・新役員選出を一括採択しました。■最後に副理事長の鶴見弁護士が閉会をおこない、「7月8日のつどいを新たなスタートにしよう!」と結びました。会場を移して交流会をおこない、懇親を深めました。

ひとすじの光明か?!

これまで私たちは、運動を進めるうえで選択を迫られることがありました。

患者会・あおぞら連絡会・弁護団と、いつも討議して決めて来ましたが、常に患者の思いを前面に掲げた運動であったと思います。

今年2月から「国会議員対策」として東京選出・厚生委員、医師の資格を有する主な与党議員本人や政策秘書との面談で、患者の思いを伝えてきました。そんな中、自民党のある議員から「党内でどのように進めるのか、考えている」との報告がありました。まだ先は読めない状況ですが、きたるべき時が訪れたときに私たちは「どのように運動をすすめるのか」意思統一を固める必要があると思います。これまで積み上げてきたことを結実させるため、微かな兆しも好機にしたいと思います。

(東京公害患者と家族の会代表副会長 石川 牧子)